



2026年8月5日

各 位

会 社 名：株式会社ハークスレイホールディングス
代表者名：代表取締役会長兼社長 青木 達也
(コード番号：7561 東証スタンダード市場)
問合せ先：管 理 部 長 中 野 雅 哉
(TEL. 06 (6376) 8088)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2026年5月13日に公表いたしました連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2027年3月期第2四半期(累計)連結業績予想の修正

(2026年4月1日～2026年9月30日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰 属 する 中 間 純 利 益	1 株 当 たり 中 間 純 利 益
前回発表予想 (A) (2026年5月13日公表)	百万円 26,400	百万円 900	百万円 800	百万円 400	円 銭 21.63
今回修正予想 (B)	26,400	1,300	1,500	900	48.67
増 減 額 (B - A)	-	400	700	500	
増 減 率 (%)	-%	44.4%	87.5%	125.0%	
(ご 参 考) 前中間期実績 (2026年3月期中間期)	25,525	1,038	1,115	520	28.13

2. 修正の理由

第1四半期の「経常利益」及び「親会社株主に帰属する四半期純利益」が、2027年3月期第2四半期（累計）期初予想を上回る実績となりました。

第1四半期の営業利益は、中食事業においては人時生産性向上活動の徹底他により包装資材、原材料価格などのコスト上昇を吸収し、計画よりも売上総利益率は上回りましたが、相次ぐ食品関連の値上げが続く環境下、消費者の節約志向に伴う減収影響により予想を下回りました。

店舗アセット&ソリューション事業は、各部門が計画を上回り堅調に推移いたしました。

物流食品・加工事業は、調達原価のコントロール及び生産性向上により計画を上回り推移いたしました。

また、期初予想に含めていませんでした投資有価証券の売却益 302 百万円を計上し経常利益が上振れました。

第2四半期（累計）連結業績予想につきましては、上述いたしました第1四半期の業績動向を踏まえ、期初予想を修正いたします。

通期業績及び配当につきましては、中東情勢をはじめとする地政学リスクの高まりと緊迫の長期化、原油高リスクによる物価上昇や為替動向の影響、消費者の節約志向の強まりなど、先行きに不確定要素が多い状況が続いているため、期初予想から修正はございません。

3. 2027年3月期（通期）連結業績及び配当予想

2026年5月13日に公表いたしました予想より変更はございません。

【参考】

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
期 初 発 表 予 想 （ A ） （2026年5月13日公表）	百万円 55,500	百万円 2,800	百万円 2,600	百万円 1,600	円 銭 86.53
（ ご 参 考 ） 前期実績 （2026年3月期）	52,427	3,057	3,003	1,483	80.24

	年間配当金			配当性向 （連結）
	第2四半期末	期末	合計	
2027年3月期（予想）	15.00 円銭	15.00 円銭	30.00 円銭	34.7%

以 上